

近代水泳と梅田 杉本傳氏

現在、日本の小中学校の多くでは、夏の体育にはプールで水泳を行なわれているところが殆どですが、この「学校にプール」というものを日本で初めて導入し、また、近代水泳を確立したのは、当宮の氏子であった杉本傳氏（すぎもと つたえ）氏という事はあまり知られていません。

杉本家は、現在の堂山町にある東急REIホテルあたりにお家があれば、江戸中期の古い地図等にも杉本家の名前が出てくるなど、梅田に根ざし、当宮とも関係の深いお家柄でした。

杉本傳氏はその杉本家で生まれ、日体大卒業後、母校である府立茨木高校の教員となり、また世界でも萌芽期であった近代水泳に着目。その指導の為、大正五年（一九一六）に大正天皇の御即位を記念して、校庭に南北三十メートル・東西十八メートルの水泳池を建造。これが日本最初の水泳授業の為のプールといわれています。

更に「競泳研究特別班」を編成し、それまで古式泳法や横泳ぎが主流だった時代に、クロール泳法を導入。大正九年（一九二〇）に開かれた全国競泳大会に、指導する茨木高校水泳部が出場し、高校生ながら全国優勝。その後も様々な大会で圧倒し、水泳指導者として杉本氏の名声は高まり、大正十三年（一九二四）のパリ五輪では水泳の代表監督に就任。そこから昭和七年（一九三二）のロス五輪まで指導者として活躍し、このロス五輪の時には、百メートル背泳ぎで金銀銅を日本が独占するという快挙まで成し遂げ、また、飛び込みや水球なども日本にもたらすなど、「水泳日本」の基礎を作った人ともいえる方です。

戦後、日米豪水泳大会の為に、大阪プールが現在の扇町公園に建設され、これは当時、世界でも最大級のプールで、飛び込み台や、背泳ぎ用の持ち手を設置したのは、世界でここが初めてでした。この建造にも杉本氏の意向が大きくあったのではないかとされており、大阪梅田は日本の近代水泳の聖地ともいえる場所でした。

明年、令和六年（二〇二四）の夏には、奇しくも再びパリ五輪が開催されます。水泳日本の応援がこたまする事と思われませんが、その近代水泳を日本にもたらし、大きく花開かせたのには、梅田地と、杉本傳氏が大きく寄与した事を忘れずにいたいものです。

冷霧散布について

茶屋町の当宮御旅社では、先月二十六日から、鳥居に冷霧散布器を設置し、また階段には風鈴を飾り、炎天極熱の暑さの中、せめてご参拝時に涼を感じて頂ければと取り付けております。設置は八月いっぱいのご予定です。

網敷音頭 再興について

昭和三十年代から四十年代にかけて、堂山町にあられたコーラス喫茶こだまの音楽部の方々が作られた「網敷音頭」という音頭が地域の盆踊りで謡い踊られていましたが、人口減少期に盆踊りが中止となり、長らく忘れられていました。

しかし、近年、この音頭の楽譜が発見された事から、御旅社の鎮座する地域である、梅田東地域の女性会や、コーラス部の皆さんの尽力で、この八月四日〜五日、両日とも十八時から、大阪市北区茶屋町二―九の梅田東コミュニティ会館で行われる盆踊り大会で再興される事になりました。どなたでも入場頂ける盆踊りですので、ぜひ半世紀ぶりに再興なる網敷音頭を、一差し舞い踊りにご来場になられてみては如何でしょうか。

今月の暦

【御旅社授与所(茶屋町) 御朱印平日受付日】

八月十五日(火) 十三時〜十七時の予定

【節気】

立秋(八月)：暦の上では秋となる。この日から残暑処置
処置廿三日：暑さの峠を過ぎる頃。台風特異日

【雑節】

お盆(十三日〜十六日)：先祖供養。日本独特のもの
旧七夕(廿二日)：本来の七夕。仙台七夕は八月七日

【大安】

八月四日、十日、廿日、廿六日

【祝日】

山の日(十一日)

【忌日】

広島原爆忌(六日)、長崎原爆忌(九日)、終戦の日(十五日)

【朔望】

満月(二日)、下弦(八日)、朔月(十六日)、上弦(廿四日)

【旬】

〔野菜〕 シシトウ、ナス、トウモロコシ、冬瓜、南瓜
〔果物〕 ブドウ、イチジク、スイカ、メロンなど
〔魚介類〕 ハモ、アユ、スルメイカ、キハダマグロ、アワビ
〔その他〕 青葉狩り(登山)、海水浴、ひまわり、朝顔が見頃

網敷天神社 SNS、地図サイト

Twitter



Facebook



当宮地図 Google MAP



編著 つなしかてんじんしゃ
網敷天神社

編集 ねぎ
禰宜(御旅社 神主)
白江 秀 知